

校番	062	ホームルーム活動	○	生徒会活動	学校行事	別紙様式2
----	-----	----------	---	-------	------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立安西高等学校	校長	馬屋原 幸孝	生徒指導主事	井上 美治
-----	------------	----	--------	--------	-------

**取組事例名** 『自転車セーフティチャレンジ!』に参加する

**取組における育てたい資質・能力**

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「自他の安全意識向上」	1	「主体性・積極性」	2	「地域から愛される」	3

**取組のねらい**

本校の育てたい生徒像である、『「社会につながる」ことを基盤として、「学び」「対話」「マナー」を大切に育てる生徒の育成』によく当てはまる、安佐南警察署の交通安全キャンペーンに参加して、上記3項目の達成の足掛かりとする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫
----------	---------

<p>このキャンペーンでは、令和元年12月2日から令和2年1月6日の間の交通事故件数の少なさ、自転車窃盗被害件数の少なさそして交通安全活動の内容の三点が審査項目で、対象の高校は安川周辺の高校で、本校を含む3校が参加した。</p> <p>そこで、全校集会において、このキャンペーンについて周知し、全校生徒が最優秀賞を目指すことで意欲を持たせた。期間中に、生徒会執行部と部活動の生徒が街頭に立ち、「登下校時に2人乗り」や「ながら運転」等の道交法違反や、校則（平和台団地内で下校時は自転車に乗らず、押して下る）の違反がないかについて取り組んだ。違反している生徒がいた場合、停車を求め、生徒名を記録し、ルールを守るよう呼び掛けた。</p>	<p>①全校集会において生徒会長が、このキャンペーンについて説明し、マナーアップを呼び掛けた。</p> <p>②のぼり旗を持って街頭に立ち、キャンペーンのムードを盛り上げた。</p> <p>③生徒会独自で違反生徒をチェックした。</p> <p>④違反者と違反内容をグラフ化して活動報告書とともに送付した。</p>
---	--

**取組の成果と課題**

約1か月間の活動の中で、交通違反と交通事故の加害・被害件数は、この3校中本校が1番少なかった。ただ、生徒会が発見した校則違反は相当あり、法令・校則順守に対する主体性・積極性については依然として課題があることが分かった。しかしながら、生徒が生徒の違反を注意して、より地域に愛される学校づくりを目指した活動は、意義があったと思われる。